

# アヴィエスマリーナーお住まい見聞レポート

生まれてくる子どものためにも  
森の中にいるような  
安心してくつろげる家に。

田んぼや木々を抜けた風が  
気持ちのいい立地。  
家のなか自然を感じる、いい空気の  
快適な暮らしが「希望」でした。

## 次世代の住まい CASE 15 宮城県亘理町 Sさんの家



一部屋ごとに、そこで過ごす人と時間への思いが伝わってくるS様邸。2Fに2つある子ども部屋は、どちらも白いもじご雲がかわいい青空模様の天井。おもちゃで遊ぶ長男Yくんも上機嫌です。



リビングは梁のある天井にすることで、高さと雰囲気のある空間に。  
木の腰壁とグリーンのカーテンのコントラストで「森」のイメージにしました。  
3つ並んだ窓も部屋のアクセントにもなっています。

S様ご夫妻が住まいづくりを考え始めたのは2年前のこと。奥様のお母様が住む築35年の家を建て替え、一緒に住むことになったのがきっかけでした。ふらりと訪れた宮城県名取市の「りんくうタウン」のモデルハウスで、スツール姿に裸足で出迎えたスタッフにびっくり。あの大出合いは衝撃でした」と声を揃えるS様ご夫妻でしたが、もみの木の床を自分で体験して裸足の理由も納得、「もともと無垢材のフローリングを考えていましたが、こんなに肌触りが気持ちのいい床はほかにならない」と、すぐに気に入ってくれました。家を建てるなら、木の温もりを感じる家にしたいねと話していたお二人。例えるなら、森の中にはいろいろなイメージ。アヴィエスマリーナーは、もみの木やスピンドルの塗壁の消臭・調湿作用や、自然換気ができる在来工法で、健康で快適な空気環境を実現できることが、契約のポイントだったそうです。打ち合わせの期間もすくなく楽しかったと振り返る奥様。ちょうどその頃、奥様のお腹に新しい命が宿つたことが判明。家族が健康で快適に暮らせるよう、より一層の思いを込めて取り組んだ住まいづくりに、夢が叶ったと満足そうなS様ご主人の笑顔が印象的でした。

担当より一言  
西村 営業

S様の家が完成してすぐ、男の赤ちゃんが家族仲間入りしました。柔らかい肌触りの檜の木の床材は、小さいお子さんがハイハイしたり歩き回したりしても安心です。S様が家造りにおいて何よりも重要なのは、床材にされたいというが、それよりも家族全員が笑顔で楽しむ生活出来て、健康で快適に過ごせる家にされたいというのが、S様の想いでした。1F、2F共に檜の木の床材を使用し、壁は全て塗り壁で仕上げました。おかげで湿度が多い時期も檜の木の調湿効果で快適に過ごせたそうです。さらには太陽光発電まで付けていただけ、S様のお宅は、これ以上に無い自然の家です。今後とも末永いお付き合いを宜しくお願い致します。

梅雨時もさらっとして、いつも素足でいるようになつたとS様。実際に暮らして快適さを実感したとか。引き渡しから間もなくして誕生した長男のYくんはもうよちよち歩き。ちょっと転んでもやわらかな感触の木の床ならまあまあ安心と奥様。おもちゃで遊んで付いた床のキズも時間と成長とともに家の味わいに。



アーチ型の入口を通って寝室へ。右のドアは夫婦2人分の季節の洋服が全部入るというウォークインクローゼット。天井は電気を消すと星座が浮かび上がるロマンチックな夜空です。

ダイニングの壁をくり抜いた形の飾り棚。ちょっとした小物を飾っておしゃれなアクセントになるだけでなく、後ろの階段の灯り取りになっています。



家族構成:お母さま・夫・妻・長男(1歳)  
延べ床面積:43坪 部屋5LDK  
こだわり設備:1F、2Fオールもみの木フロア スピンドル塗り壁  
リビングモミ腰壁 太陽光発電



部屋が明るく見えるように白い色にしたというスピンドルの塗り壁。奥様が集めているイヤープレートのブルーがおしゃれに映えます。棚は主人が選ばれました。



畳のある部屋が欲しいと仏間に配した畳は、ごろんと寝転んだりできる癒しのスペース。奥様はお母様の部屋。引き戸を開ければ2間続きになり、ご近所付き合いで大勢の来客があつても便利に使えます。



家族の会話を弾む明るいリビングダイニング。収納を考えてセミオープンにしたキッチンからはお子さんの遊び様子が見渡せます。お子さんが大きくなったときの家族のコミュニケーションを考え2Fへの階段をリビング階段にしました。